

【氏名】 山田 敦弘 大阪府出身	
【現職】 株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部 シニアマネジャー 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師 大分県杵築市役所 業務アドバイザー 九州若者サポートネットワーク運営委員	
【学生へのメッセージ】 「ヘルスケア×まちづくり×エコシステム（持続的に循環する仕組み）」の視点を重視しながら、ヘルスケア分野における課題解決策を自ら創出していくためのノウハウや考え方を学んでいきます。 講師は、米国にて MBA ヘルスサービスマネジメントを学び、日本では公衆衛生学を学んだ後に、シンクタンクにて官民へのコンサルティング（公共、民間）を実践し、さらに、市役所にて課長及び参与を 6 年間務めるなど、多様な経験も有しています。 医療・保健・福祉に精通している方も、していない方も、それぞれの視点・立場で意見を交わし、本当の課題は何なのか、地域にもたらすメリットは何か、持続的に循環する仕組み（ビジネスモデル）とするにはどうしたら良いのか、などについて迫りたいと考えています。	
【専門分野】公衆衛生・ヘルスケアビジネス創出・地方創生	
【担当科目】ヘルスケアマネジメント	
【主な経歴】 近畿大学商経学部経済学科卒、米国ゴールデンゲート大学 MBA 医療サービス経営専攻卒、大阪大学医学系研究科博士課程公衆衛生学専攻卒業。株式会社日本総合研究所入社後、システムコンサル、病院経営支援コンサル、自治体コンサル、経済産業省ヘルスケア事業創出支援 PJ などを経て、内閣府地方創生人材支援制度（第一期）にて大分県杵築市役所へ派遣され、政策推進課長及び参与として 6 年間務めた。帰任後は引き続き同市の業務アドバイザーを務めながら、スマートシティにかかるコンサルティングにおいて、ヘルスケア事業創出などのテーマに中心に取り組んでいる。	
【主な研究業績/社会的活動】 Designing and Delivering Dementia Services／John Wiley & Sons, Ltd 「保健予防事業のアウトソーシング最前線」月刊誌公衆衛生（全 12 回）医学書院 医療経営白書／日本医療企画 「地方都市が目指すべきスマートシティ」日経グローバル（全 6 回）日本経済新聞社 「人口減少時代の地域経営」地方行政（連載 6 回）共同通信社 など多数	
【所属学会・団体】 日本公衆衛生学会、非営利法人研究学会	
【資格・表彰】 医学博士、MBA、社会福祉士、IT ストラテジスト（高度情報処理）、防災士	